

水野 美加さん（山口県山口市出身）
2018 年度 2 次隊 青年海外協力隊
派遣国：コロンビア 職種：皮革工芸
2019 年 10 月 6 日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

革製品開発 低コストに

私は今、地元山口県を離れ、国際協力機構（JICA）青年海外協力隊としてコロンビアの首都ボゴタの職業訓練校皮革工芸科（SENA）に配属されている。

SENA 周辺には皮をなめすための工場や倉庫街が無数に点在し、街では革のブーツやジャケットを身に着けている人を多く見掛ける。革製品はこの国の生活の中心に位置している。

革製品技術者を養成する SEANA では、先生が学生に 10 種類以上のかばんや財布を用いて作り方を教えていく。全て口頭によるコミュニケーションで、製品を分解して行う授業のため、学生の習得度にばらつきが出るのが問題視されていた。

知識定着を促す教科書を作り習得不足の補完はしたものの、現場と関わるうちに別の課題も見えてきた。それはコスト削減のため、革と別素材を組み合わせた新デザインを創造することである。革は高価なため、全て革を用いて製品を作るとかなりの費用がかかる。

最近では、日本のランドセルをモデルにコロンビアの材料を使った新製品を開発するため、材料の市場調査をしている。ここに住んでいる人々が、コロンビアから約 1 万 4 千*離れた日本製品に触れる機会は少ない。

作り方だけでなく、伝統的なランドセルが日本で生まれた背景、形状を変えて幅広い世代に愛されているゆえんも伝えたい。ランドセルをリデザインした製品開発が低コストで実現できるよう、現地の職人と活動を進めていきたい。



キャプション：
同僚と作った富士山などを刺しゅうでデザインしたかばん